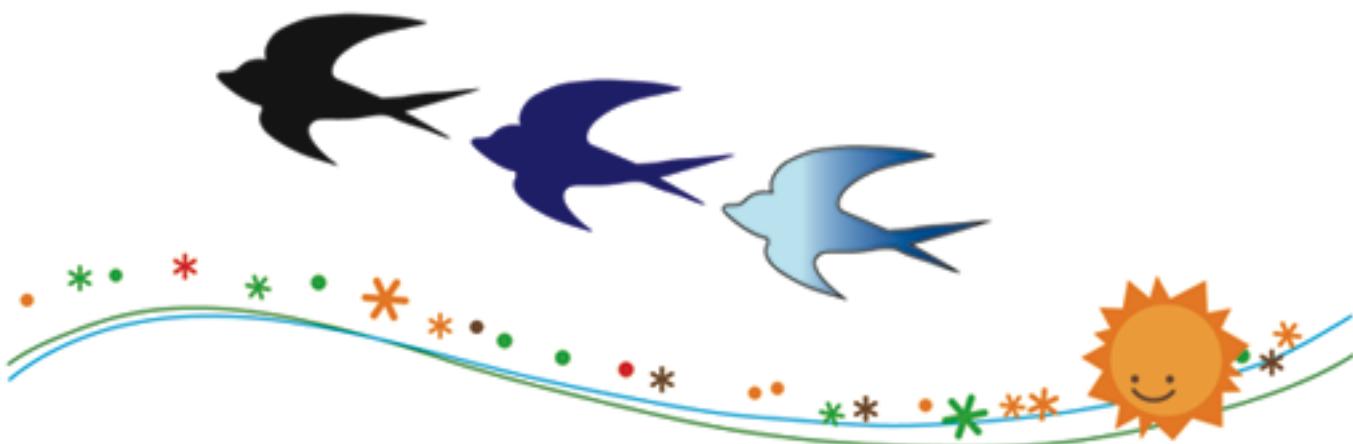


保存版

燕市原子力災害対応 ガイドブック

～いざというときに知っておきたい原子力災害のこと～



はじめに

燕市では、平成23年3月に発生した福島第一原子力発電所の事故を受け「原子力災害」の対策や防災の取り組みを、国や新潟県、県内の市町村とともに進めています。

原子力災害が発生したとき、「どのように行動したらよいか」「放射線とはどのようなものか」などを、このガイドブックにまとめました。

燕市の場合は、柏崎刈羽原子力発電所（以下、「原発」という。）から、目安として概ね30km圏内の地域（大河津分水路左岸の地域）と、それ以外の地域では、原子力災害が発生した際、原則として取るべき行動が異なりますので、注意が必要です。

万一のときに冷静な対応ができるよう、このガイドブックを参考に日ごろからの備えを心がけるようにしてください。

もくじ



はじめに	1
1. 原子力災害について.....	2~3
2. 距離に応じて適切に行動.....	4
3. 原子力発電所からの広域図.....	5~6
4. 事態の進展に応じた行動.....	7~8
5. 正確な情報の入手.....	9~12
6. まずは、屋内退避	13~14
7. 屋内退避で取るべき行動	15~17
8. 自宅以外にいるとき事故が発生したら.....	18
9. 避難指示が出たら	19~20
10. 安定ヨウ素剤について	21
11. 燕市外の広域避難者の受け入れについて	22
12. 体験者のお話	23~24
13. 日ごろからの備え	25~26
14. わが家の防災メモ	裏表紙

1. 原子力災害について

原子力災害とは、原発の事故等により放射線や放射性物質が放出され、人体及び生態系への悪影響など自然環境に様々な被害をもたらす災害です。

放射線は、目・鼻・耳などで確認することができないため、放射線測定器を用いなければ検知することができません。そのため、原子力災害時の行動は、県や市からの最新の正確な情報に基づいて行動する必要があります。



原子力まめ知識

外部被ばくと内部被ばくの違いとは？

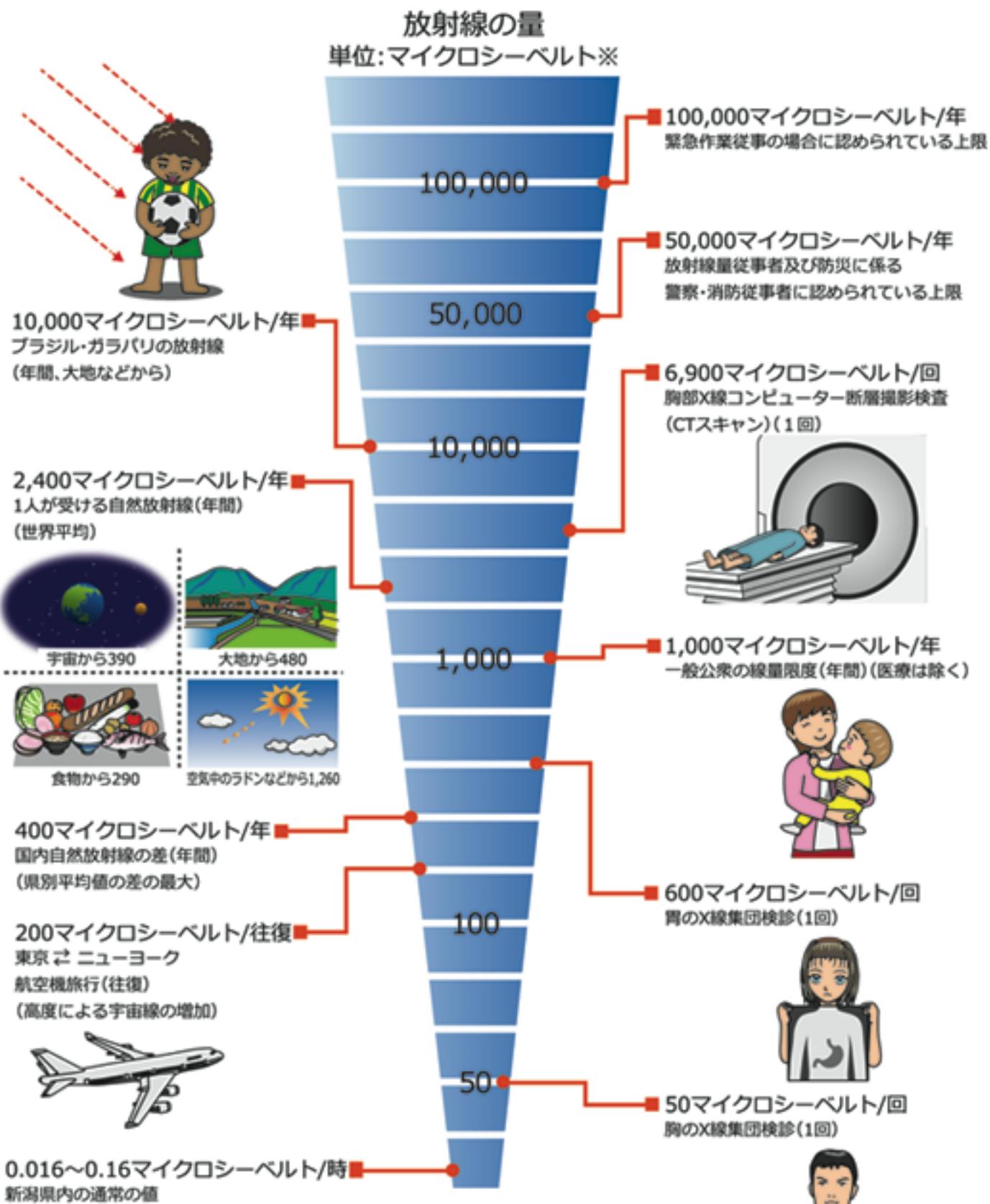
- 外部被ばく

体の外部にある放射性物質から放出される放射線を受けることです。

- 内部被ばく

人が呼吸や食べ物等から放射性物質を体内に取り込むことにより、体の内部から放射線を受けることです。

放射線被ばくの早見図



※マイクロシーベルトとは、人体が放射線を受けたとき、その影響を表す単位です。
1シーベルト=1,000ミリシーベルト=1,000,000マイクロシーベルト

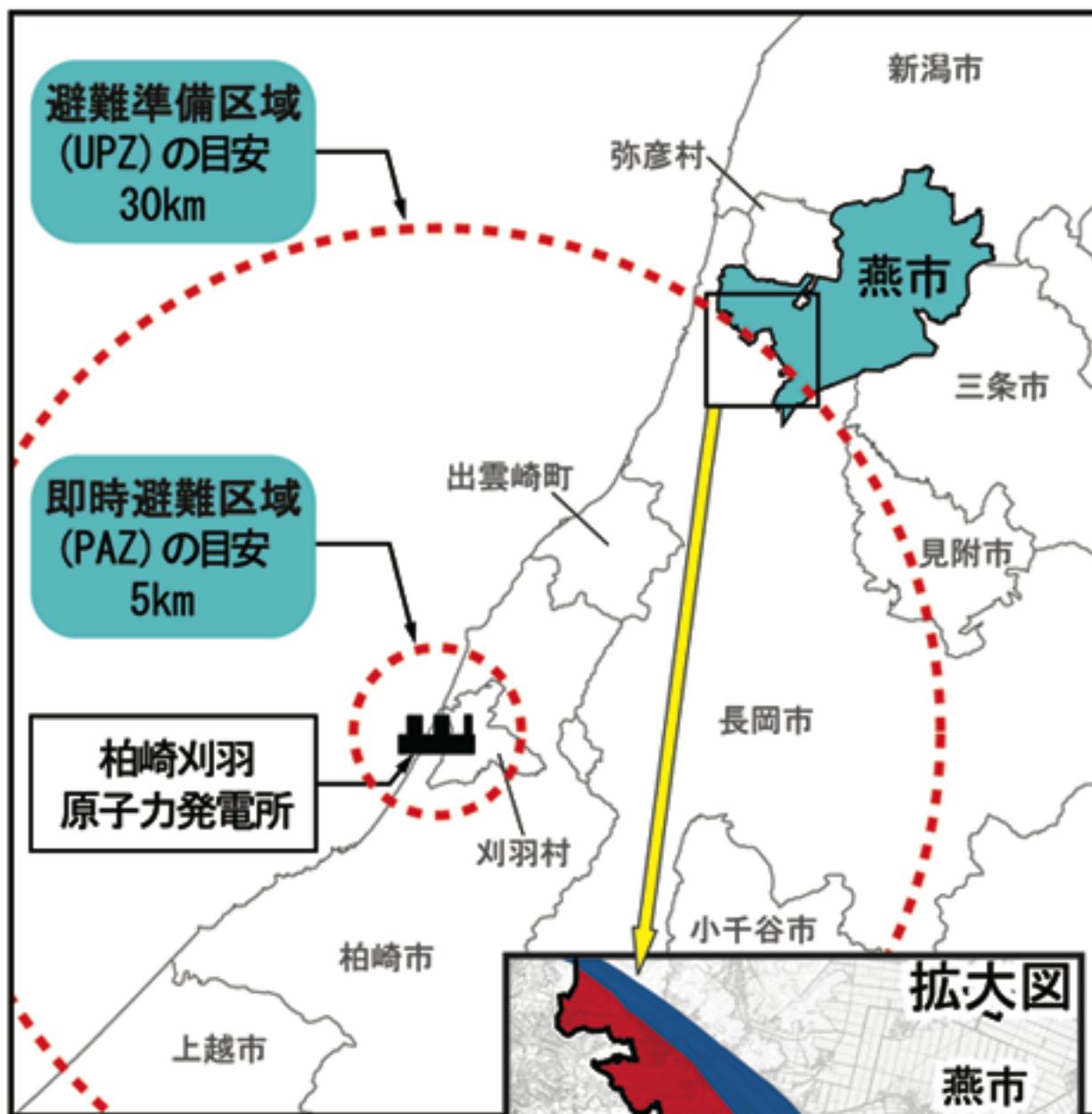
2. 距離に応じて適切に行動

原子力災害では、原発の事故等の状況と原発からの距離により市民のみなさんの取るべき行動が異なります。

原発からの概ねの距離	該当地域	主な行動
~ 5 km 即時避難区域 (PAZ)	燕市に該当する地域はありません。	<ul style="list-style-type: none">・即時避難
5~30km 避難準備区域 (UPZ)	大河津分水路左岸側の地域 (渡部、真木山、幕島、大川津興野、下中条)	<ul style="list-style-type: none">・まずは屋内退避・その後、風向きや放射線の測定結果などを踏まえて避難の準備・避難指示発令後は、大河津分水路右岸側の市が指定する避難所へ避難・必要に応じて安定ヨウ素剤を服用
30km以遠	上記を除く市内全域	<ul style="list-style-type: none">・必要に応じて、屋内退避

3. 原子力発電所からの広域図

柏崎刈羽原子力発電所からの距離など



燕市では、大河津分水路左岸地区（渡部、真木山、幕島、大川津興野、下中条）が避難準備区域（UPZ）に指定されています。



モニタリングポストについて

新潟県内には、原発周辺の放射線監視体制を強化するため、各所に環境放射線モニタリングポスト（放射線自動観測局）が設置されています。

燕市内では、分水公民館の敷地内（駐車場）にモニタリングポストが設置されています。



モニタリング
ポスト設置場所
(分水公民館)



原子力まめ知識 環境放射線モニタリングポスト

環境中の空間放射線量率などを24時間連続測定する設備です。
測定値は電光掲示板に表示されるほか、次のホームページ等でも確認することができます。

<http://housyasen.pref.niigata.lg.jp/>



4. 事態の進展に応じた行動

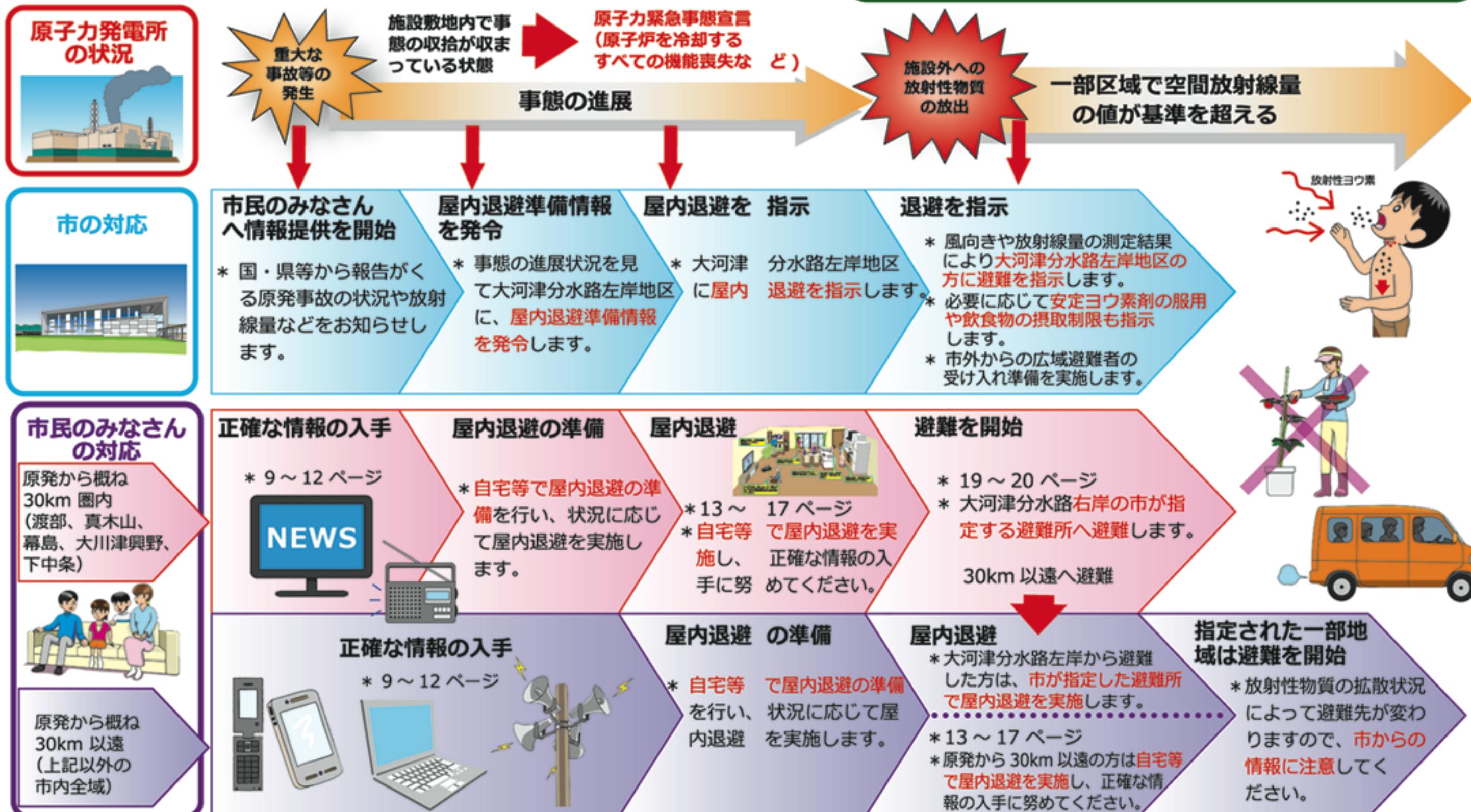
原子力災害では、目・鼻・耳で確認することのできない放射線から身を守るために、事態の進展に伴う正しい情報を入手し、それに応じた適切かつ冷静な行動が最も重要になります。

また、災害の状況により、取るべき行動が変化する場合があります。

原子力災害時の行動で重要なポイントは次の3つ！

- ①「正確な情報の入手」
- ②「まずは屋内退避」
- ③「状況によって避難」

みなさんに取っていただく行動は、状況と地域によって異なります。常に新しい情報を入手するよう心がけ、適切に行動してください。



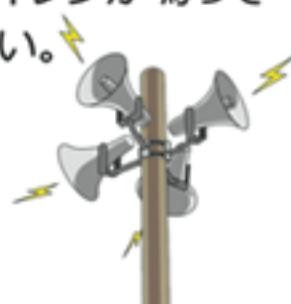
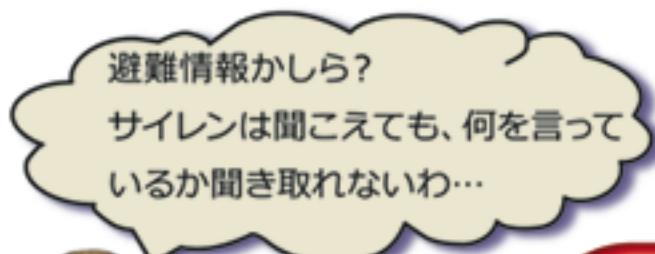
5. 正確な情報の入手

原子力災害に限らず、災害が発生した際、市では速やかに緊急情報**を複数の手段**で発信します。ただし、気密性の高い屋内では防災無線が聞き取りづらくなるように、待っていれば確実に情報が伝わってくるとは限りません。防災無線の放送を待つばかりでなく、**自ら積極的に情報を取得するようにしてください。**

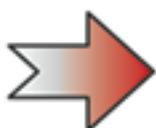
市では、主に次の手段を使ってみなさんへ情報を配信します。

■ 防災無線

災害時や緊急時には**サイレンを流します**。サイレンが鳴っている場合は、緊急情報ですので注意してください。



そんなときは



※防災無線の内容は次の電話番号で確認することができます。
(放送終了後24時間以内)

☎0256-77-8303

サイレンが鳴っている場合は、緊急情報です。テレビやラジオをつけるなどの行動をとってください!!
市も複数の手段で情報をお知らせします。



原子力災害時の情報収集の重要なポイントは次の3つ！

- ① 落ち着いて、テレビやラジオからの「正確な情報」入手しましょう！
- ② 「市（または国・県）の情報」に基づいて行動しましょう！
- ③ 「うわさやデマなど不確実な情報」に惑わされないように注意しましょう！

■ 防災つばめ～ル

【事前に登録が必要です】

ご登録いただいた携帯アドレスへ「避難情報」や「気象警報」などがメール配信されます。



【登録方法】

右下の二次元コードを読み取るか、下のメールアドレスへ空メールを送り、返信されてくるメールの指示に従い登録してください。

✉ メールアドレス

insert-mail@city-tsubame.jp



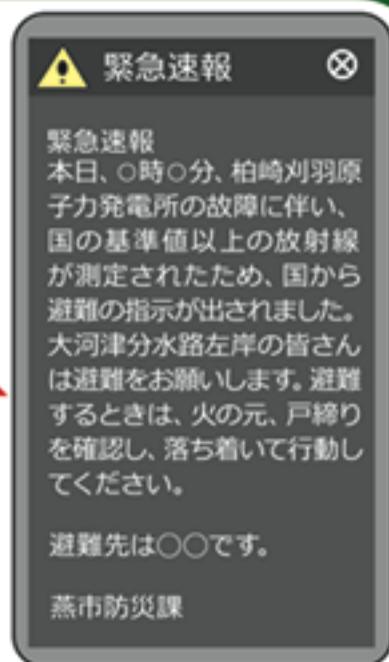
■ 緊急速報メール（エリアメール）

NTT ドコモ、au、ソフトバンク等の携帯電話（対応機種に限る）に、避難情報などがメール配信されます。配信された時点で、燕市内にいる方の携帯電話にメールが届きます。

着信画面イメージ →

【設定方法】

登録不要ですが、携帯電話の緊急速報メール（エリアメール）の“設定”が「利用する」になっているか確認してください。



■ 燕市公式ツイッター

燕市公式ツイッター
[@koho_tsubame](https://twitter.com/koho_tsubame)

燕市公式ツイッターから緊急情報等を配信します。平時は市の取り組みやイベント情報もつぶやきます。アカウントは「[@koho_tsubame](https://twitter.com/koho_tsubame)」です。フォローをお願いします。右の二次元コードを読み取ってのアクセスも可能です。



■ 燕三条FM (FM76.8MHz)

災害時は、避難所まで携行でき、乾電池で動くラジオが有効です。燕三条FMでは、災害が発生した場合、通常の放送内容から燕市と三条市の災害情報を優先して放送します。



【ラジオ販売】

燕市では、汎用FMラジオをご希望の方へ1台500円で販売しています。

■ テレビ (BSNデータ放送)

災害時にBSNテレビのデータ放送「市町村情報コーナー」で緊急情報を配信します。平時は、市の事業の紹介を配信しています。

【閲覧方法】

- ① チャンネルをBSNに合わせ、リモコンのdボタンを押す。**dボタン**
- ② 市町村情報を選択する。



■ 原子力規制委員会緊急情報メール

【事前に登録が必要です】

原子力施設立地地域にて大規模災害等が発生した際、原子力規制委員会から、直接、原子力施設の状況やモニタリング情報などの緊急情報が、携帯電話にメール配信されます。



【登録方法】

携帯電話で右の二次元コードを読み取るか、下のURLにアクセスし、登録してください。

<http://kinkyu.nsr.go.jp/m/>



■ インターネット情報

燕市ホームページでは、災害時は一目で**緊急時**と分かるよう、トップページにバナーを貼りつけ、情報を配信します。

また、各種関係機関のホームページ(URLは下記をご覧ください)も参考にしてください。

緊急情報のバナー



■ インターネット情報（その他）

災害時には、次のホームページも参考にしてください。

- 燕市ホームページ

<http://www.city.tsubame.niigata.jp/>

- 新潟県防災ポータル

<http://www.bousai.pref.niigata.jp/contents/index.html>

- 新潟県環境放射線監視テレメータシステム

<http://housyasen.pref.niigata.lg.jp/>

- 東京電力柏崎刈羽原子力発電所

<http://www.tepco.co.jp/kk-np/index-j.html>

- 原子力規制委員会緊急時情報ホームページ

<http://kinkyu.nsr.go.jp/>



6. まずは、屋内退避

屋内退避とは

- 屋内退避は、市民のみなさんが比較的容易に行える防護措置であり、放射性物質の吸入抑制や放射線を遮へいすることにより、放射線による健康被害の低減を図ることができます。

屋内退避の重要性

- 原子力災害が発生した場合、放射性物質が放出される前に、まずは原発から近い柏崎市や刈羽村の住民が予防的に避難を開始することとなります。
- この時、他の地域の住民があわてて自家用車などで一斉に避難を開始すると、交通渋滞により避難ができなくなり、かえってリスクが高まることが懸念されています。
- そのため、原発から5km以遠では、すぐに避難を開始するではなく、まずは屋内退避を行います。
- 屋内退避を行うことで、放射性プルーム（原発から放出された放射性物質が雲状になったもの ⇒2ページ）通過時の放射線による健康被害の低減が図られます。
- 屋内退避をすることによって、テレビやラジオなどから、災害の状況など正確な情報を入手することができます。

屋内退避の「指示」が出てからの行動

- 災害の状況に応じて、まずは「屋内退避の準備情報」が出されます。
- さらに事態が進展すると「屋内退避の指示」が出されます。

原発から30km圏内 (大河津分水路左岸の地域)

- なるべく早く自宅などの建物に入ってください。
- 屋内退避で取るべき行動(⇒15~17ページ)を確認し、落ち着いて行動してください。
- どうしても帰宅できない場合は、職場や近くの建物に入り、最新の情報を入手するようにしてください。

原発から30km以遠 (左記以外の地域)

- できるだけ自宅に帰り、屋内退避行動を取るように準備してください。
- 外出を控え、最新の情報を入手するようにしてください。
- 不要不急の外出や、市外への避難行動は、交通渋滞を招き、かえって危険な状態となります。

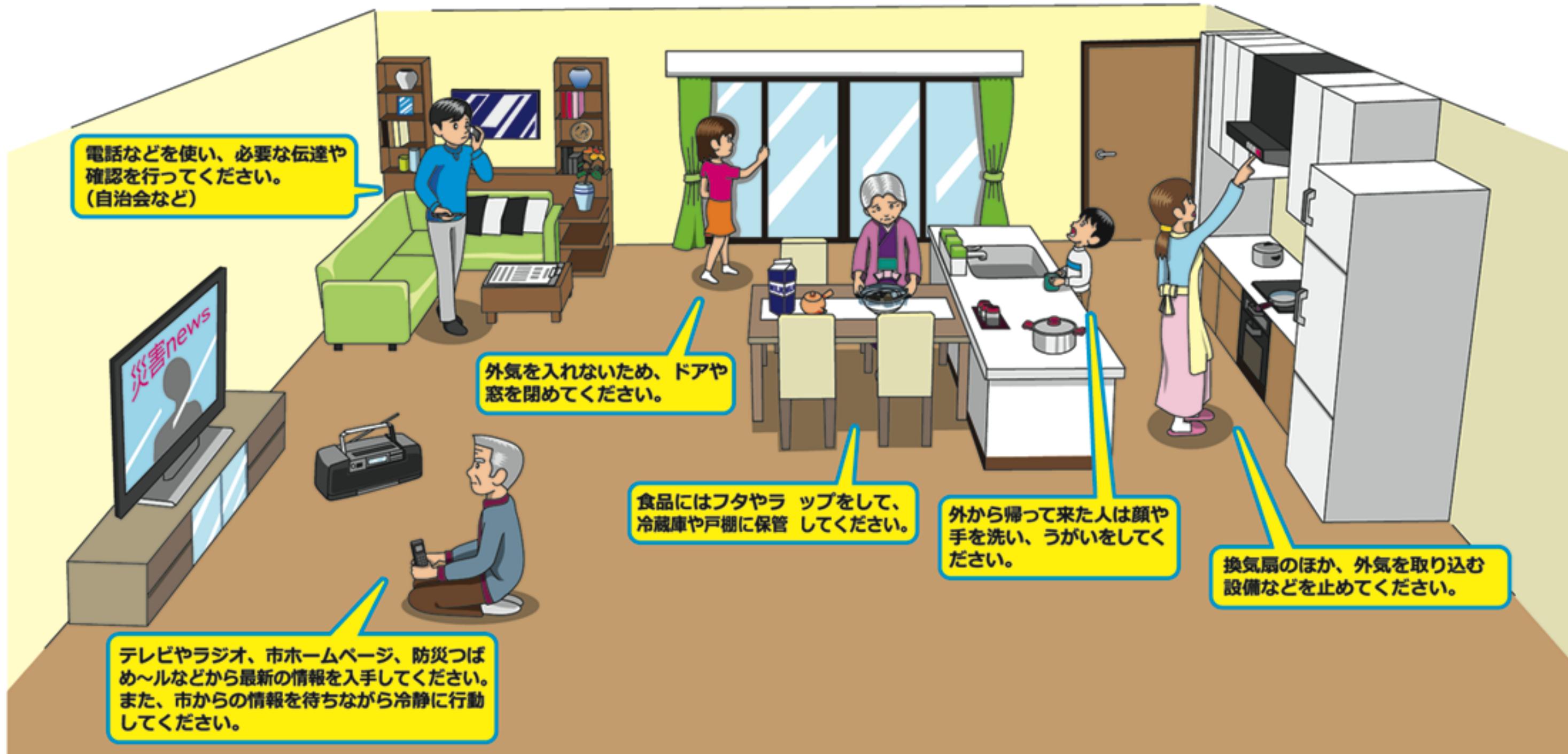
屋内退避をすることで放射性物質の吸入抑制や放射線を遮へいすることができ、放射線による健康被害の低減を図ることができます。



7. 屋内退避で取るべき行動

屋内退避での過ごし方

あわてず、落ちついて、まずは建物の中に入る



このほか、「非常用持ち出し品」(⇒25~26ページ)など、万一の避難に備えた準備を行ってください。

やむを得ず外出する場合は、長袖・長ズボン・帽子・マスク・手袋などの着用を心がけてください。

飲食物の摂取制限

原子力災害の影響で、食品や農産物から基準値を超える放射性物質が検出された場合には、その品目の飲食や出荷が制限されたり、禁止されたりします。

テレビやラジオ等、様々な方法で摂取制限のお知らせをします。解除の情報も同様にお知らせします。



屋外の飲食物は飲食しないように市役所から指示が出されます。



国が出荷制限をする前に、農協や県の独自の判断で出荷が自粛されることがあります。



日ごろから各家庭で非常用の食料を備蓄しましょう。



原子力まめ知識

放射能、放射線、放射性物質とは？

● 放射能

放射線を出す能力のことです。

● 放射線

高いエネルギーをもち高速で飛ぶ粒子（粒子線）と高いエネルギーをもつ短い波長の電磁波の総称です。

放射線は放射性物質から放出されています。

● 放射性物質

放射能をもつ物質のことです。

放射能、放射線、放射性物質の関係は、電球にたとえられます。

例：電球



光を出す能力

放射性物質



放射能



光



放射線

8. 自宅以外にいるとき 事故が発生したら

幼稚園・保育園・認定こども園・小中学校では

- 屋内退避の準備情報が発令されたら、子どもの安全を確保し、速やかに保護者にお渡しするため、次の対応を行います。
 - 幼稚園・保育園・認定こども園では
保護者に連絡し、園にて子どもを引き渡します。
 - 小中学校では
子どもを集団下校させたり、
保護者に引き渡したりする連絡が入ります。
- 保護者と連絡が取れない場合は、引き渡しができるまで一時的に幼稚園・保育園・認定こども園・小中学校でお預かりし、園内及び校内で屋内退避を実施します。



高齢者や障がいのある人などへの対応は

- 高齢者や障がいのある方をはじめ、乳幼児のいる家庭、妊産婦の方は、市からの情報に基づき、早めに行動するよう心がけてください。
- やむを得ず「避難」が必要となった時は、自治会や自主防災組織、隣近所、民生委員、介護保険事業者等と協力し合い、避難誘導を行いましょう。
- 原発から30km 以遠の病院や社会福祉施設では、そのまま屋内退避を継続し、それぞれの施設職員の指示に従って行動してください。



9. 避難指示が出たら

市からの情報提供、行動の指示

- 風向きや放射線量の測定結果などを踏まえて、避難が必要であれば、概ね原発から30km圏内の地域に避難指示を出します。
- 上記以外の地域のみなさんは、屋内退避を実施します。ただし、事態の進展によっては、地域を特定して避難指示を出します。



避難方法

- 原則、自家用車で避難してください。災害時にはガソリンや軽油が不足する可能性があります。普段から早めの給油を心がけてください。
- 渋滞を避けるため、できるだけ乗り合って避難してください。
- 自家用車で避難できない方のために、市が一時集合場所を指定し、避難用のバスを用意します（原発から30km圏内の地域に限る）。
- 避難の際は、非常持ち出し品（⇒25～26ページ）を持ち、マスクや上着（フードの付いたビニールカッパなど）を着用してください。



避難先へ

- 避難先は、市が指定する避難所へ避難してください。
- 避難先、または避難の途中で「スクリーニング」(⇒21 ページ)を行います。
- 避難所では、まず避難者登録を行います。市の指示と異なる場所（親戚宅など）に避難する方は、自治会の役員等または市役所へ避難先や連絡先を報告してください。

(防災課: 0256-77-8381)

原発から30km圏内 (大河津分水路左岸の地域)

- 大河津分水路右岸の市が指定した避難所へ避難を開始してください。
- 原則、自家用車で避難してください（自家用車で避難できない人のために市でバスを用意）。



- 避難の途中でスクリーニングを実施します。



原発から30km以遠 (左記以外の地域)

- 原則、屋内退避を実施。



- 事態の進展に応じ、地域を特定して避難指示を出す場合があります。
- あわてて避難を開始しないよう注意しましょう。

10. 安定ヨウ素剤について

安定ヨウ素剤は、服用の時期により効果が大きく左右されることや、副作用の可能性もあることから、配布や服用などの方法については、国・県・医療関係者などで検討中です。安定ヨウ素剤は、市や医師など医療関係者の指示に従って服用することとなります。



原子力まめ知識

安定ヨウ素剤とは？

私たちの身体は、日ごろから食物などに含まれるヨウ素を取り込み、甲状腺に蓄えています。原子力災害時には、安定ヨウ素剤を服用し、放射性でないヨウ素を甲状腺に蓄えることで、内部被ばくの原因となる放射性ヨウ素を体内に蓄積しにくくします。

安定ヨウ素剤を服用することにより、甲状腺がんなどを発生させるリスクを低減する効果があります。



原子力まめ知識

スクリーニングとは？

「スクリーニング」とは、身体の表面や衣服に放射性物質が付着していないか検査することです。これは、健康への影響がない場合でも、念のために行う場合があります。検査結果により、洗ったり、ふき取ったりして放射性物質を取り除きます。



11. 燕市外の広域避難者の受け入れについて

柏崎刈羽原子力発電所から概ね30km圏内には、約46万人の方が居住しています。

原子力災害時は、その方々を迅速に30km以遠に避難させるとともに、約46万人の避難者を他の市町村が受け入れる必要があります。

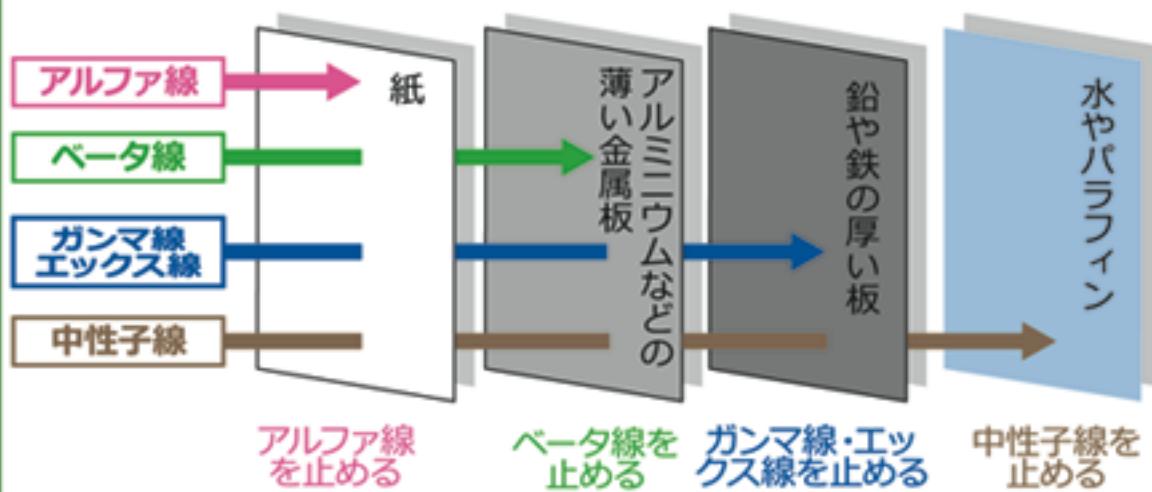
燕市でも、長岡市の一 部の住民を受け入れる計画となっており、県内関係市町村で詳細な避難場所等の調整を進めているところです。災害時は“お互いさま”的精神で協力し合うことが重要です。力を合わせて災害を乗り切りましょう。



原子力まめ知識

放射線の種類とその力（透過力）

「放射線」は、アルファ(α)線、ベータ(β)線、ガンマ(γ)線などの種類があります。それらは、高速の粒子や電磁波の一種で、それぞれ物質を突き抜ける力（透過力）が違います。



12. 体験者のお話

燕市には、東日本大震災における福島第一原子力発電所の事故により、福島県から避難されてきた方々がいらっしゃいます。その方が体験した話を参考に、万一の場合に備えておきましょう。

原子力災害に限らず、自然災害の備えにも役立ちます。

事故の直後は、避難指示が出ていたことを知りませんでした。災害時はテレビやラジオから最新の正確な情報を入手して、取るべき行動を知ることが大切です。



ラジオは携行できる電池式が便利ですが、電池切れに注意が必要です。

市町村の登録制防災メール（燕市は「防災つばめ～ル」）にも登録しておくと、いざというとき役立つと思います。

避難する際、ガソリンが調達できなくて困りました。ガソリンスタンドは大混雑で、給油制限もかかっていました。



今は、自家用車のガソリンは、半分以下になると、すぐ給油するよう心がけています。

事故直後は、物流も止まり、水や食料品が確保できませんでしたので、現在は保存食を備蓄しています。また、避難するときに必要なものは人によって異なります。



赤ちゃんのいる家庭はオムツや粉ミルクが必要ですし、持病のある方は薬（お薬手帳）を持っていくことも忘れずに。

寒い時期では毛布やカセットコンロなども役に立ちます。携帯電話の充電器も必須です。



13. 日ごろからの備え

日ごろからの備えとして、次の品を準備しておきましょう。また食料・飲料の消費期限や乾電池の使用期限などを定期的にチェックしておきましょう。

いざという時の持ち出し品リスト

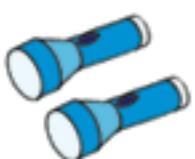
■ 貴重品



■ 情報を得たり伝えられるもの



■ 身の安全や健康を守るもの



懐中電灯
(1人にひとつ)



常備薬
医薬品



飲料水



非常食



乳幼児用
ミルク



防寒具



傘などの雨具



生理用品

■ 原子力災害時に用意するもの



フードのついた
ビニールカッパ



帽子



マスク



ゴム手袋



長袖・長ズボン

自身や家族の状況に応じて必要なものを最低限準備しましょう。



14. わが家の防災メモ

家族の携帯電話の番号など、携帯電話の電話帳に登録していても、いざ充電が切れたとき、見ることができなくなります。いつでも連絡がとれるように、ここにメモしておきましょう。

●家族の連絡先

名 前	血液型	電話番号	会社・学校名	会社・学校の連絡先
	型			
	型			
	型			
	型			

●わが家の避難所

わが家の避難所	
家族の集合場所	
災害時の連絡先	
その他の連絡先	



●持ち出し品チェックリスト (⇒25~26ページ)

<input type="checkbox"/> 現金	<input type="checkbox"/> 運転免許証	<input type="checkbox"/> 健康保険証	<input type="checkbox"/> 預金通帳	<input type="checkbox"/> 印鑑
<input type="checkbox"/> お薬手帳	<input type="checkbox"/> ラジオ	<input type="checkbox"/> 予備乾電池	<input type="checkbox"/> 携帯電話	<input type="checkbox"/> 充電器
<input type="checkbox"/> 筆記用具	<input type="checkbox"/> 懐中電灯	<input type="checkbox"/> 常備薬	<input type="checkbox"/> 医薬品	<input type="checkbox"/> 飲料水
<input type="checkbox"/> 非常食	<input type="checkbox"/> 傘・雨具	<input type="checkbox"/> オムツ	<input type="checkbox"/> ミルク	<input type="checkbox"/> 生理用品
<input type="checkbox"/> 防寒具	<input type="checkbox"/> カッパ	<input type="checkbox"/> 帽子	<input type="checkbox"/> マスク	<input type="checkbox"/> ゴム手袋
<input type="checkbox"/> 長袖	<input type="checkbox"/> 長ズボン	<input type="checkbox"/> 「このガイドブック」		

発行:燕市総務部防災課

〒959-0295 新潟県燕市吉田西太田1934番地

電話:0256-77-8381/0256-92-1111(代) /FAX:0256-77-8305

URL:<http://www.city.tsubame.niigata.jp/>

